

社会教育における研修の実施形態の在り方

～社会教育における『対面型』と『オンライン型』の研修による学習効果に関する調査研究から～

生涯学習・社会教育の広がりと充実に向けて

大分大学大学院教育学研究科（教職大学院） 教授 清國 祐二



社会教育ではつながりづくりが重要視され、対面の方が優位だとみなされる傾向にあります。活動が活発になったり、地域が活性化したり、地域の課題がみんなの協力によって解決していきったりすることで地域のウェルビーイングが高まると考えると、学びの成果に付随するつながりづくりが重要なのは自明です。

一方で、個人の学びも重要であり、それにはオンラインの利便性を大いに活用しましょう。研修効果について、社会教育ではつながりづくりが着目されますが、実際には内容の定着があってこそです。と考えれば、個人が知識的・技能的に豊かになっていくことは、とても意味深いこととなります。

これからの生涯学習・社会教育には、教育基本法に基づき、個人が要求する課題（個人の要望）と社会が必要とする課題（社会の要請）をバランス良く提供していくことが求められます。Society5.0の時代において、アナログ的な感覚を失うことなく、デジタルの力を活用することに努めましょう。

学習者の学ぶ目的を達成するために、どのような内容と方法を組み合わせるのが良いのかについて、提供者側はますます敏感になることが重要です。

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に

社会教育においてもオンライン型の研修実施が一般的に



対面型とオンライン型の研修の課題を整理し、利点を引き出すことが必要

対面型とオンライン型の研修では、どちらも同じくらいの学習効果が得られるのかな。



社会教育で重要な「人のつながりづくり」についての効果に違いはあるのかな。

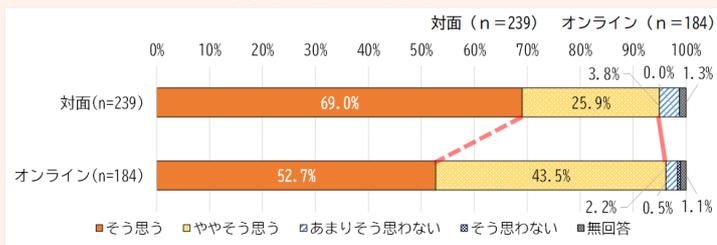
栃木県総合教育センターでは、生涯学習部で実施されている対面型研修とオンライン型研修^{※1}の学習効果（特に、社会教育において重要な「人のつながりづくり」に焦点を当てる）を比較し、両者の利点と課題を明らかにする調査結果を基に、今後の研修の実施形態の在り方について検討しました。

研修の更なる充実に向けて、調査結果を踏まえた取組のポイントをまとめましたので、御活用ください。

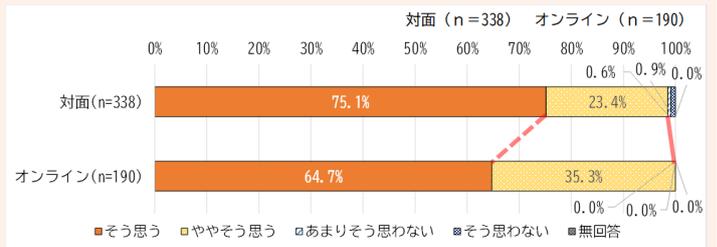
※1 当センター生涯学習研修において実施するオンライン型研修は、ライブ配信型（同時双方向型）で実施。オンラインでの配信は、オンライン会議システムのZoomを利用。

学習効果・受講者の満足度の高い研修は？

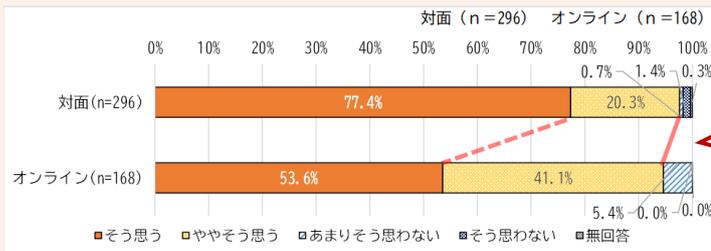
関心・意欲は高まったか



知識を得たり理解を深めたりできたか



満足できる研修になったか



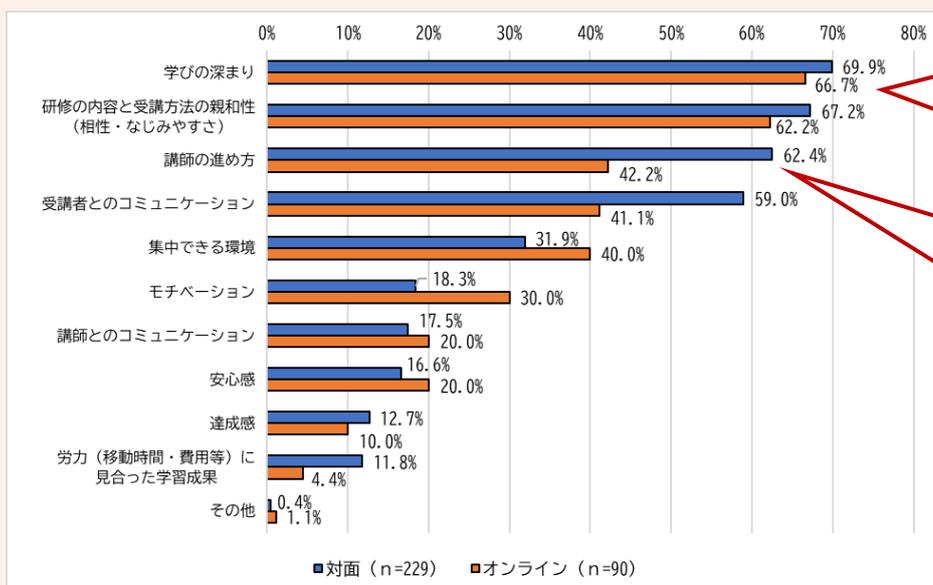
対面型もオンライン型もほぼ同等の学習効果が得られることが分かった。

対面型研修もオンライン型研修もおおむね満足できることが分かった。

▷対面型研修は、グループワークがしやすく、リアルタイムで直接的なやり取りができること、オンライン型研修は、受講しやすい環境で受講の目的に合致する学びが得られることで、学びの深まりや研修の満足度につながると考えられます。

より満足度の高い研修にするには？

満足できる研修となった要因は？（複数回答）



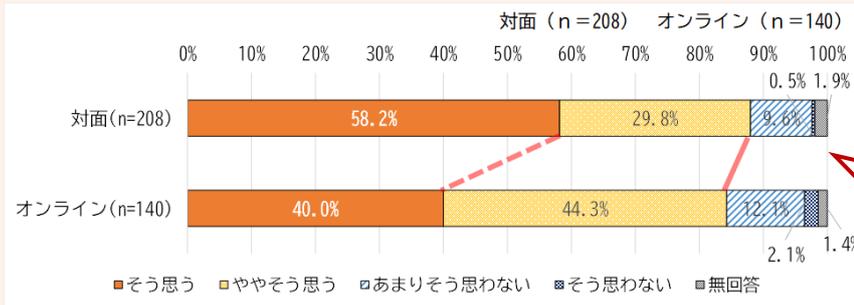
「学びの深まり」や「研修の内容と受講方法の親和性 (相性・なじみやすさ)」が満足度に関係している。

「講師の進め方」や「受講者とのコミュニケーション」は、対面型の方が割合が大きい。

▷対面型、オンライン型どちらの研修も、「学びの深まり」や「研修の内容と受講方法の親和性 (相性・なじみやすさ)」があることが、受講者の満足度に大きく関わっていることが分かりました。
▷オンライン型の研修の「講師の進め方」や「受講者とのコミュニケーション」について工夫することで、より満足できる研修になると考えられます。

社会教育において重要なつながりづくりをするためには？

受講者同士のコミュニケーションは十分に図れたか



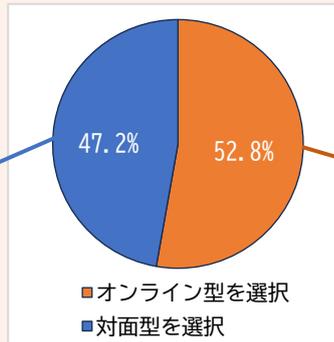
どちらの受講者もおおむねコミュニケーションが図れたと感じているが、対面型での受講の方が、コミュニケーションを十分に図れたと感じる傾向がある。

対面型とオンライン型を選べる（ハイフレックス※2型）研修ではどちらを選択する？

【対面型を選択】

移動距離に関わらず、受講者とのコミュニケーションが取りたい、直接話を聞きたい、場の雰囲気を知りたいなどの理由があった。

移動距離が30kmを超える受講者で、オンライン型での受講が難しい、自信がないという理由があった。



【オンライン型を選択】

移動距離が20kmを超えると、会場が遠いこと、移動に時間がかかることなどの理由が出てきた。

※2 「ハイフレックス」は、対面型・オンライン型のいずれかを受講者が選択して受講するもの。

- ▷ コミュニケーションの図りやすさから、対面型研修の方が社会教育において重要な「つながりづくりがしやすい」と考えられます。
- ▷ 移動距離が20km以内の場所に研修会場を設定することで、対面での受講がしやすくなると考えられます。
- ▷ 対面型受講者の中には、オンライン型での受講スキルが向上することにより、オンライン型研修を受講する人が増えると考えられます。

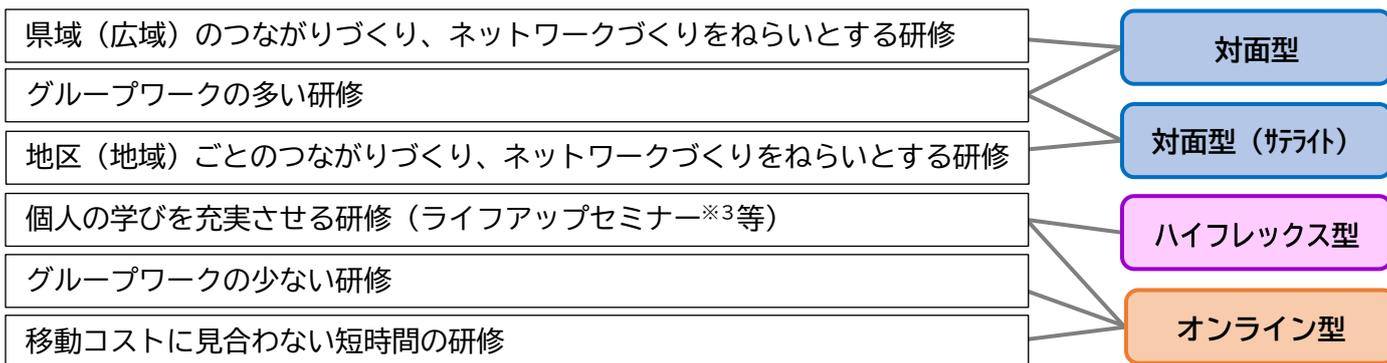
受講しやすい連続研修を行うには？

受講者が感じている対面型研修とオンライン型研修の利点と課題

	利点	課題
対面型研修	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取りやすく、つながりづくりがしやすい。 ・他の受講者の前向きな雰囲気・講師の熱量等を感じやすい。 ・研修の満足度、受講者にとっての学習効果が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動にコスト（時間・距離・労力等）がかかる。
オンライン型研修	<ul style="list-style-type: none"> ・移動にコスト（時間・距離・労力等）がかからない。 ・受講しやすい環境・場所で受講できる（受講のしやすさ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取りにくく、つながりづくりがしにくい。 ・会場の雰囲気や受講者の様子を感じにくい。 ・スキルが無いと受講しにくい。

- ▷ 移動コスト等の負担と学習効果（前述）のバランスを考えると、対面型とオンライン型の併用がよいと考えられます。
- ▷ 特に、回数の多い連続研修においては、各回の内容・ねらいに応じて開催方法を変えることで、受講者の負担を減らすことができると考えられます。

研修の受講方法を検討する際の視点



受講者の負担軽減と学習効果のバランスを考慮した研修の工夫

① 対面型研修とオンライン型研修を組み合わせた研修プログラムの企画

- ・つながりづくり、ネットワークづくりをねらいとする研修については、対面型で研修を行うようにする。
- ・回数の多い連続研修の場合は、対面型とオンライン型を組み合わせることで、特に、会場までの移動にかかる受講者の負担を軽減させる。

② 受講しやすく、満足度が高まるオンライン型研修の計画

- ・オンライン型研修受講の簡易マニュアルを作成し受講者に配付したり、受講者のオンライン会議システムの事前接続テストを実施したりすることで、オンライン型研修に対するハードルを下げる。
- ・見え方や音声の事前確認、受講者への資料の事前配付をすることで、資料の見にくさや音声の聞きにくさを解消する。
- ・チャット機能を活用したリアルタイムでの質問・意見の受付や、ブレイクアウトルームでの時間の提示などを行い、オンライン型の受講者が受講しやすい研修の進め方にする。
- ・受講者同士のコミュニケーションが図れる環境を準備する。

③ ハイフレックス型研修の充実

- ・対面型・オンライン型のどちらも充実した研修となるよう、研修内容、運営を工夫する。
- ・事前に、対面型・オンライン型両方の受講者がいることや、グループワーク等（回数、時間、グループの人数等）について講師と打合せを行い、運営計画に明記する。
- ・グループワーク等に入る前に、受講者に進め方や時間を伝えることで、ブレイクアウトルーム利用時の研修の受けにくさを解消し、対面型・オンライン型どちらの受講者も同じようにグループワーク等を進められるようにする。
- ・オンライン受講者の様子を講師が見られるようにすることで、講師とオンライン受講者のコミュニケーションを取りやすくする。（通信環境、受講人数によっては、オンライン受講者の画面をオフにしなければならない場合がある。）

④ サテライト会場の活用

- ・移動の負担を軽減させた対面型研修として、サテライト会場を設ける。
- ・地区（地域）ごとのつながりづくり、ネットワークづくりをねらいとする研修については、積極的にサテライト会場の設置を検討する。

令和7（2025）年3月
 栃木県総合教育センター生涯学習部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070
 TEL 028-665-7206 FAX 028-665-7219
 E-mail skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp
 URL <https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

調査研究に関する詳細は、Web サイト「とちぎレインボーネット」を御覧ください。



とちぎレインボーネット



アン シン